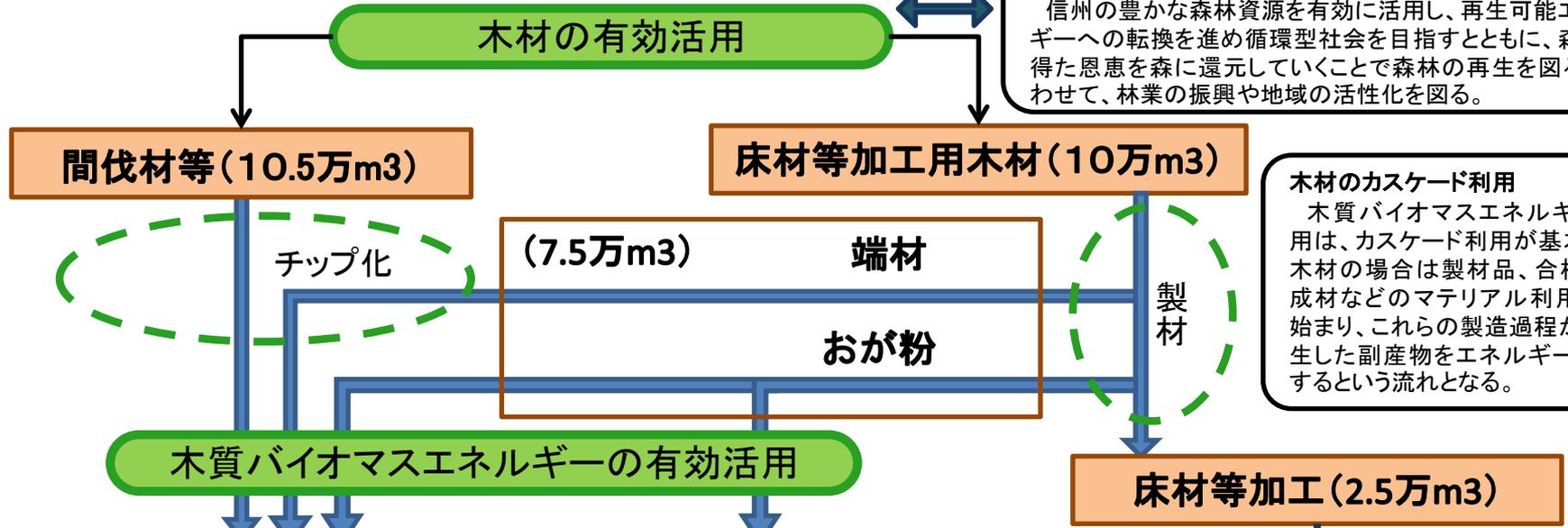
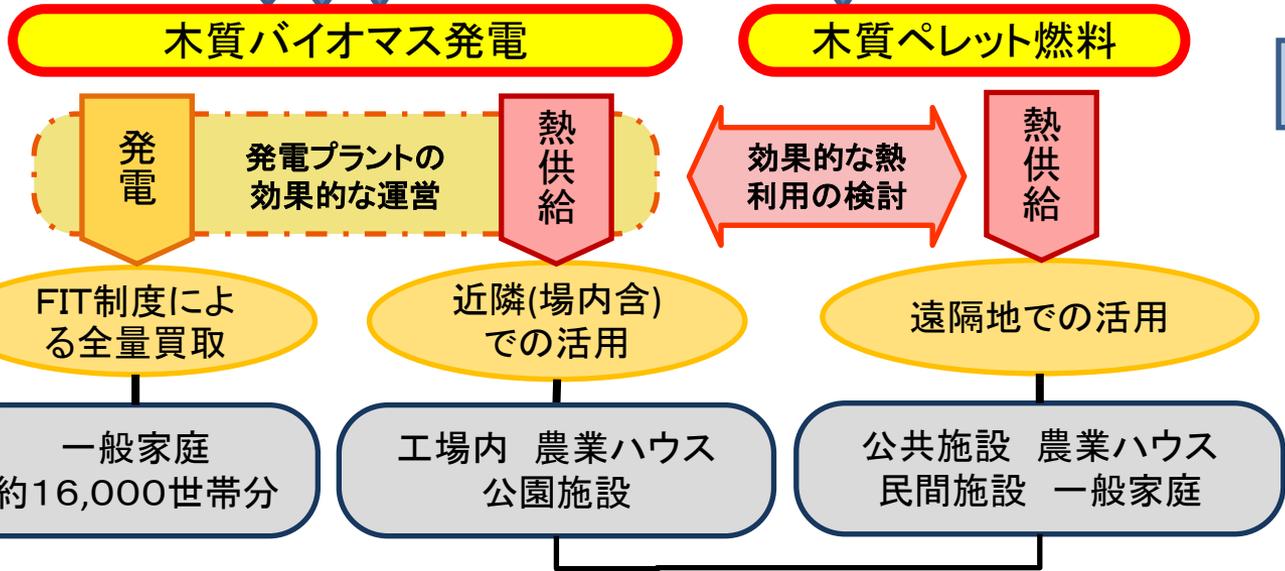


目的
信州の豊かな森林資源を有効に活用し、再生可能エネルギーへの転換を進め循環型社会を目指すとともに、森から得た恩恵を森に還元していくことで森林の再生を図る。合わせて、林業の振興や地域の活性化を図る。



木材のカスケード利用
木質バイオマスエネルギー利用は、カスケード利用が基本で、木材の場合は製材品、合板、集成材などのマテリアル利用から始まり、これらの製造過程から発生した副産物をエネルギー利用するという流れとなる。



地域熱利用の考え方
木質バイオマスエネルギーを有効的に利用するためには、発電だけでなく地域熱利用をするコジェネレーションによる活用が効果的である。しかし、熱の供給範囲が限定されてしまうことから、モデルとなっているオーストリアでは単独の熱需要に関してはペレット燃料の活用を行なっている。市域全体を考えた場合、熱利用地により、活用方法の選択が必要である。



管路配管による熱利用想定図

